

令和 7 年度第 1 回 FD 研修会が開催されました

On the 28th of November, Amelia Iijiri of Kyoto University of Foreign Studies gave an online presentation on Students and Classrooms in the Generative AI (GAI) Era. In the presentation, she spoke about trends in AI, pedagogical use of AI, and the ethics of AI.

11 月 28 日、今年度の第 1 回 FD 研修会として、京都外国语大学の井尻アミリア氏による「生成 AI 時代の学生と教室」と題したオンライン講演が行われました。講演では、AI の動向、教育現場における AI の活用、AI の倫理などについての事例や論点についての紹介や解説が行われました。

【日時・場所】2025 年 11 月 28 日（金）4 限 Zoom

【教職員参加者数】19 名

Content of the Presentation

Professor Amelia Iijiri gave a bilingual presentation about AI and its effects on students, classes, and ethics. Using her own experiences as a graduate student and a parent of a high-school-aged child as a springboard, Amelia shared information about what AI companies want people to think about AI and how people are highly interested in using AI. In Japan, AI is a big part of daily life, especially now that it can provide more than just text-related support to students. Part of its attractiveness is that it also provides emotional support. However, there are still issues surrounding the accuracy of information provided by AI, worries over job displacement, students' ability to think, and academic integrity.

本講演において井尻氏は、AI とそれが学生・授業・倫理に与える影響について報告をされました。アミリア氏自身の大学院生としての経験と同時に高校生の子を持つ親としての視点にも立脚しつつ、AI を開発・提供する企業が AI についてユーザーや市民がどう考えてほしいと考えているのか、またユーザーや市民の側が AI 利用にいかに強い関心を持っているかという現状について、講演を通じて情報共有がはかられました。日本では AI が日常生活に深く浸透しており、特に学生への支援がテキスト関連を超えて顕著に広がっているのが現状であること、また今日の AI の魅力のひとつは感情的なサポートまでもユーザーに提供できる点にあることなどが論じられました。しかしその一方で、AI が提供する情報の正確性に関する問題や、AI 普及に伴う雇用喪失への懸念、学生の思考力や学術的誠実性への負の影響といった課題についても依然として存在することも論じられました。

Most teachers feel unprepared and worried about using AI in general and their future employment in particular. Happily, AI will never replace teachers; the dynamics between teachers and students is something that AI cannot replace. While AI is fine for individual learning, the call for interactive and project-based learning requires human interaction. In addition, although teachers may be concerned about cheating,

students generally use AI to give them confidence and support their learning. Of course, teachers need to re-think the kinds of assignments they give and the classroom climate also needs to be changed. AI supports modern-day values in education, such as inclusion, equity and diversity. Creating activities in which students use AI, such as guessing games, songs, and custom AI-created materials can help students understand that AI is not perfect and can be a starting point for creative thinking.

多くの教員は総じて AI の普及について、特に将来の自身の職業維持の点から準備不足と不安を感じていると思われるが、幸いなことに AI が教師に取って代わることはなく、教師・生徒間のダイナミズムは AI が決して代替できない領域である、また AI は個別学習には適しているものの、対話型やプロジェクト・ベースの学習を求める教育現場では人間同士の関わりが不可欠である、とアミリア氏は語りました。さらに、教師が AI を利用した学生の不正行為を懸念する一方で、学生は概して自身の答えや考えについての自信を強めるための学習支援ツールとして AI を活用していることも紹介されました。但し、教員の側も勿論、AI の存在を前提として課題の内容を見直したり教室における学習環境を見直す必要があること、AI はインクルージョンや公平性、多様性といった現代的教育において重要な価値観を支えることのできるツールであり、推測ゲームや作曲、AI によるカスタム教材の作成や利用など、生徒が AI を活用する活動を取り入れることにより AI が完璧ではないことを理解させつつ自身の創造的思考の出発点とすることができるとも話されました。

After sharing some practical advice for using AI in lessons, Professor Ijiri raised ethical issues such as privacy, data protection, bias, copyright, environmental impact, human labor, misinformation, the digital divide, emotional dependence and job automation. Although these are important considerations, the future of education is about designing environments where students can be creative and work collaboratively.

授業で AI を活用するための実践的なアドバイスを紹介された後、井尻氏はプライバシー、データ保護、情報バイアス、著作権、電力利用等からくる環境への影響、人の労働、誤情報、デジタル・デバイド、感情的依存、仕事の自動化といった倫理的問題についても言及されました。これらは重要な配慮事項ではあるものの、教育の未来は学生自らが創造性を発揮し協働できる環境を設計することにあると論じて、講演は締めくされました。

参加者アンケートより（一部抜粋） /Feedback

【1. 今回の授業の感想をお聞かせください。】

学習で AI を活かす方法の具体例についてわかりやすくご講義いただきました。私自身は質問するに至りませんでしたが、質疑応答で AI に対する考え方(取り扱い方)の文化的差異についても議論があるなど有意義な学びの時間となりました。

講演の言語が英語で半分くらい理解できたかどうかでした。英語の勉強をしないといけないと改めて思いました。先生がご提示してくださったスライドのまとめのようなものがあればいただけたらありがたかったです。

The speaker was knowledgeable and gave a comprehensive explanation about the various aspects of use of AI.

AI の活用方法について、世の中全体が必要としているものである以上、否定的にとらえるのではなく、こちら側が上手に活用できる方法を検討していく必要があることを学ぶことができました。ありがとうございました。